

せと 市議会だより

Seto City Council

101号

令和4年
9月定例会
令和4年11月号

特集 P.2-3

令和3年度 決算審査

表紙の絵について

この絵は6月初旬の晴れた日の、正門から見た瀬戸北総合高校です。

「瀬戸北ならではの風景を描こう」という授業課題で、野外に画材を持って行き、実際の風景を見ながら描きました。野外で描くのは、机の上で描くよりも、手が動かしにくかったり、形がぶれたり、日差しが暑かったりと大変です。しかし大変な分、作者がその場で感じた空気感が伝わる絵になったと思います。

ちなみにこの絵に描かれている校舎は改修工事が行われたばかりで、かつての校舎から鮮やかな色へと生まれ変わっています。

文筆:美術科教諭 佐々

P.11に
瀬戸北総合高等学校の
紹介があります



税金はこのように

1 地元食材の学校給食への供給回数について

事業内容 農業者等と連携して、学校給食への地元食材の提供や、安全安心な地元農産物の流通推進などの地産地消に取り組んだ。

議会の視点 目標数値を達成したうえでの今後の方針は。

Q 学校給食供給回数が伸びているが、今後どのような方針で提供していくか。

A 最低限の安定供給が可能な新たな野菜の確保にも努力し、全体の供給回数・供給量を上げていきたい。



生産者も頑張っています

2 事業者対象の瀬戸焼購入補助金はどうかだったか

事業内容 コロナ対策事業として、瀬戸焼関連事業者の支援と、瀬戸焼の魅力を広く伝えるため、市内事業者が瀬戸焼を購入する際の補助金を交付した。

議会の視点 新型コロナウイルス感染症対策事業として、適切に使われたのか。

Q 補助率が非常に高い事業だが、高い補助率とした理由は何か伺う。

A 短期間で効果的に目的を達成できるように補助率を高く設定した。



市内店舗の様子

3 中水野駅周辺の土地区画整理の進捗は

事業内容 居住機能や都市機能を集積・再配置したコンパクトで魅力あるまちづくりを推進するため、事業計画の立案や調査設計を進めた。

議会の視点 ボーリング調査を踏まえた軟弱地盤の対策はどうか。

Q 地域の多くが農地であるため、地盤の改良が必要と考えるがどうか。

A 地盤が軟弱な場所については、地盤改良を行い、道路の構造や建築物の建築に支障がないようにしていく。



中水野土地区画整理区域

4 基幹バス・コミュニティバス・住民バスの今後は

事業内容 瀬戸市地域公共交通網形成計画に基づき、市内基幹バス、コミュニティバス、菱野団地住民バスの運行を行った。

議会の視点 地域公共交通の打開策はないか。

Q 今後、交通空白地域についてはデマンド方式※という選択肢もあるがどうか。

A デマンド方式については過去に実証実験を行ったが、実際は利用者が減った。利用者のニーズ、運行経費や予想利用者数なども踏まえ検討していく。

※予約型の運行方式



菱野団地の住民バス

使われました

分科会審査の様子は、議会録画映像でご覧になれます。



5 高齢者の移動手段をどのように確保するのか

事業内容 高齢者の移動支援についての在り方を検討し、外出機会の創出に取り組んだ。

議会の視点 高齢者の外出手段となるか。

Q 実施回数を含めてどのような効果があったのか、また課題は何か。

A 参加した方の94%から満足との回答をいただいたが、新型コロナの関係で3回のみ実施した。

課題としては、自主的な参加が少なく、声掛けをして参加者が集まったという状況のため、参加者を集めることが一番の課題だと考えている。



道泉地区での実証実験の様子

6 保育園待機児童について

事業内容 公立保育園の保育体制を整備し、子育て支援を行った。

議会の視点 保護者のニーズに応えられているか。

Q 希望する園での入園が叶わないため待機の状態になっている方もいるが、その中に育休明けなどですぐにも働かなければならない方はいなかったか。また、いた場合はどう対応していたか。

A 待機されている方で育休明け等ですぐに働かないといけない方はいたが、そのような相談を受けた際には、認可外保育園を案内するなどの形で対応した。



元気に遊ぶ園児たち

7 独居老人の見守りについて

事業内容 ICTを活用した一人暮らし高齢者等の世帯に機材を設置し、日常生活を通じて見守りを行った。

議会の視点 安否確認や認知症早期発見にどう繋がったか。

Q 見守りシステムの効果について伺う。

A 見守り対象者の生活リズムを冷蔵庫の開閉回数により継続的に記録することで、不在確認や安否確認が可能となり、孤独死の防止に大きく貢献すると捉えている。



開閉を感知するみまもりセンサー

8 地域活動の要である、公民館の整備について

事業内容 公民館を市民の皆さんに安心して使ってもらうための修繕を行った。

議会の視点 地域の公民館活動を施設整備の面から支えるのは行政の役目ではないか。

Q 令和3年度の公民館の修繕について、要望のあったものには対応したのか。

A 人命や館の運営および維持に関し緊急を要するものから優先的に対応している。



陶原公民館(築69年)

9 家庭ごみの中身を調査します

事業内容 家庭系ごみの中身を調査し、ごみ減量の基礎資料としてデータ化した。

議会の視点 ごみの分別・排出状況を明らかにする。ごみ減量をいかに進めるのか。

Q 今回、ごみ組成調査を業務委託したが調査の目的は何か伺う。

A 家庭系ごみの中身を調査し、ごみ減量のための基礎資料や啓発活動等に活用するため。



家庭系ごみの中身を調べた様子

10 消防新庁舎建設の進捗について

事業内容 市役所に隣接する土地に最も重要な消防の拠点である消防新庁舎を建設し、より効率、効果的な消防活動を行う。

議会の視点 消防新庁舎の基本構想を策定するのか。

Q 消防新庁舎建設のため、開発公社から土地を購入したがその進捗状況はどうか。

A 基本構想検討委員会を設置し、令和4年度中に庁内版基本構想を策定する予定である。



消防新庁舎建設予定地

9月定例会で何が変わるの？ 私たちの暮らし



市役所1階ロビーに多機能端末機を設置します

マイナンバーカードを利用した多機能端末機(6か国語に対応)により住民票・印鑑登録証明書等の交付を開始します。



公立・民間保育所等の給食費は値上げしません

市内29園での給食費について、今年度内は原材料等の値上げ分を市で負担します。



市役所の駐車場にEVスタンドを設置します

環境負荷の少ない電気自動車の利用促進と市民のみなさんの利便性向上のため、充電スタンドを設置する予定です。



ジブリパークのオープンにむけて

図書館・学校図書館にジブリコーナーを設置し、ジブリの世界観が学べるよう工夫しています。

また、児童が校外学習でジブリパークに出かけます。



9月定例会議案一覧

◆市長提出議案

議案番号	件名	採決結果
第48号議案	瀬戸市職員の育児休業に関する条例の一部改正について	可決(全会一致)
第49号議案	瀬戸市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正について	可決(賛成多数)
第50号議案	瀬戸市消防団条例の一部改正について	可決(全会一致)
第51号議案	瀬戸市子どもの権利条例の制定について	可決(全会一致)
第52号議案	瀬戸市手数料徴収条例の一部改正について	可決(全会一致)
第53号議案	市道路線の認定について	可決(全会一致)
第54号議案	令和4年度瀬戸市一般会計補正予算(第6号)	可決(全会一致)
第55号議案	令和4年度瀬戸市一般会計補正予算(第7号)	可決(賛成多数)
第56号議案	令和4年度瀬戸市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決(全会一致)
第57号議案	令和4年度瀬戸市一般会計補正予算(第8号)	可決(全会一致)
認定第1号	令和3年度瀬戸市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定(賛成多数)
認定第2号	令和3年度瀬戸市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(賛成多数)
認定第3号	令和3年度瀬戸市春雨墓苑事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(全会一致)
認定第4号	令和3年度瀬戸市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(賛成多数)
認定第5号	令和3年度瀬戸市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(賛成多数)
認定第6号	令和3年度瀬戸市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	認定(全会一致)
認定第7号	令和3年度瀬戸市下水道事業会計決算の認定について	認定(全会一致)
同意第2号	瀬戸市教育長の任命について(加藤 正彦氏)	同意(全会一致)
同意第3号	瀬戸市教育委員会委員の任命について(稲垣 遼氏)	同意(全会一致)
同意第4号	瀬戸市公平委員会委員の選任について(柴田 朋子氏)	同意(全会一致)
同意第5号	瀬戸市固定資産評価審査委員会委員の選任について(竹本 弘司氏)	同意(全会一致)
同意第6号	瀬戸市固定資産評価審査委員会委員の選任について(鈴木 洋子氏)	同意(全会一致)
同意第7号	瀬戸市固定資産評価審査委員会委員の選任について(伊藤 昌幸氏)	同意(全会一致)
同意第8号	瀬戸市監査委員の選任について(伊藤 勝朗氏)	同意(全会一致)



「子どもの権利条例」が制定されました

内容

本市の子ども総合計画に基づき、子どもの権利を守り、子どもの権利が保障される子どもにやさしいまちを整備するための条例です。

Q

権利侵害を受けた子どもを適切かつ速やかに救済するために、子どもの権利擁護委員を設けるが、どのように選任するのか。

A

他市の事例を参考にしながら、弁護士や学識経験者などを3名程度選任する予定であり、他の機関から独立したものとする。



各議員の議案に対する賛否の状況

議案のうち賛否の分かれたもののみ記載

議員名 議案番号	自民新政クラブ										公明党 瀬戸市議団	日本共産党 瀬戸市議団	無会派	無会派	無会派	無会派	無会派	無会派	無会派	無会派						
	朝井賢次	高島淳	西本潤	小澤勝	水野良一	宮園伸仁	富田宗一	柴田利勝	戸田由久	山田治義	三木雪実	長江公夫	三宅聡	池田信子	長江秀幸	新井亜由美	浅井寿美	原田学	松原大介	馬嶋みゆき	石神栄治	中川昌也	高桑茂樹	臼井淳	藤井篤保	伊藤賢二
第49号議案	-	○	○	○	-	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
第55号議案	-	○	○	○	-	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第1号	-	○	○	○	-	○	○	○	-	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○
認定第2号	-	○	○	○	-	○	○	○	-	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第4号	-	○	○	○	-	○	○	○	-	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第5号	-	○	○	○	-	○	○	○	-	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【○】は賛成(同意) 【×】は反対(不同意) 議員名は左より会派ごとの議席順に記載。

なお、水野良一議員は議長職のため採決には加わりません。朝井賢次議員・戸田由久議員は欠席のため、採決には加わっておりません。

今年は 民吉議会です

生誕250年記念
缶バッジ



瀬戸市議会では毎年9月定例会を「せともの祭」や「来る福招き猫まつり」の開催に合わせて、「いいもんせともん議会」と銘打って、開催してきました。今年は、磁祖と称えられる江戸後期の陶工「加藤民吉翁」が生誕250年を迎えることを記念して、イラスト入り缶バッジを製作し、会議に出席する議員と職員が着用するとともに、民吉翁のパネルを設置して、その遺徳を称えました。「いいもん せともん」の「せともん」とは、瀬戸焼を始めとして瀬戸にあるあらゆるものを表しており、そしてそれらのもの全てを「いいもん=良いもの」として再認識して発信するとの願いを込めたものです。今後もやきものまかせとの発展に市議会としても尽力していきます。

虚礼廃止について

議員が、年賀状などの時候の挨拶状を出すことは、公職選挙法により禁止されています。ご理解とご協力をお願いします。

瀬戸市議会

市の行政課題などについて15人の議員が考え方や内容を質問しました。質問を行った順に、一人ずつ紹介します。



自民新政クラブ
戸田 由久



カーブミラーの設置について

Q 本当の危険は、その道路を利用している市民の方々が一番知っておられるのは当然のことと考える。改定された設置基準により、住民意見が、より取り入れられるようになっていくものと理解して良いか伺う。

A 改定した設置基準では、「道路管理者が総合的な状況に鑑み、走行する運転者に車両等の存在を認識させる必要があると判断する場所」とし、設置要望箇所は、利用状況や交通量、道路形状など様々であることから、実情を踏まえ道路管理者の判断で対応できるようにした。
(維持管理課)



日本共産党
瀬戸市議団
浅井 寿美



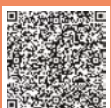
地域公共交通は住民の声を聴いて改善を

Q 水野地域の住民がコミュニティバス曾野線などについて地域内4町でアンケートを行い、約1600世帯中、604部を回収したが、一番の要望は週4日隔日運行の曾野線を「毎日運行に」というもので、アンケート総数の6割を超えた。市は利用人数を考慮した結果というが、毎日運行でも一日当りの利用者数が曾野線より少ない路線も現存する。曾野線の毎日運行の検討を始めるべきではないか。

A コミュニティバス全体の適切な運営を目指し、料金改定や様々な運行手段を視野に入れ、運行協議会、地域公共交通会議で今後も検討協議を行っていく。
(都市計画課)



無党派
白井 淳



統廃合した5つの小学校跡地活用の進捗状況について

Q 道泉小学校跡地処分については、広く事業者を募り、出来るだけ高い価格で売払い又は貸付けて成果を還元していくことが原則と思われるが、どのようにして成果を出すのか。また、祖母懐小学校跡地売払いに係る入札の不調、東保育園移転の断念という結果について、どこに原因があったのか。

A 公募型プロポーザル方式による業者選定を予定しており、地域の活性化と公有財産の有効活用を図っていく。また、祖母懐小学校跡地の売却、保育園移転が不調となった原因については、昨今の建築資材や人件費の高騰が不調の原因の一つとなったと認識している。
(政策推進課)



自民新政クラブ
小澤 勝



コロナ感染による本市の経済活動への影響と、今後の展望と施策の取組み

Q 税収入の根幹をなす経済活動の今後の推移を踏まえ、本市の魅力を高め住みたいまちを目指すには法人及び個人の市内事業所の活力が原動力と考える。アフターコロナを見据え、より骨太な積極財政が必要で、その根幹となる経済の付加価値を高める財政運営の後押しが重要と考えるが見解を伺う。

A 市税の安定確保のほか、地方交付税増収に向けた取組み、国・県支出金の獲得など歳入確保に努め、歳出面では、中長期的な費用対効果を踏まえて事業の優先順位を検討し、限られた財源を効果的に配分して、都市像の達成に向けた取組みを後押しする。
(財政課)

会議の様子は、会議録や録画映像で
ご覧になれます。



Q 市議の質問

A 市の回答



公明党
瀬戸市議団
三宅 聡



「プラスチックごみゼロ宣言」に向けて

Q 本年4月よりプラスチック資源循環促進法が施行され、プラスチックごみの削減とリサイクルの促進が喫緊の課題となっている中、各地の自治体より続々と「プラスチックごみゼロ宣言」がなされ、環境問題に取り組む機運が全国で高まってきている。プラスチック製容器包装分別回収をスタートさせる本市だからこそ、「プラスチックごみゼロ宣言」をすべきと思うが見解を伺う。

A まずは市民の皆様と一体となってプラスチック製容器包装の資源化に取り組み、実績を積み重ねた上で、宣言については他自治体の動向を踏まえ検討する。（環境課）



日本共産党
瀬戸市議団
新井 亜由美



体育館のエアコン設置で子どもの命と健康を守り、学びを保障する

Q 今年6月に市内小学校で体育の授業中に11人の児童が熱中症により救急搬送された。学校体育館は、子どもたちの教育・生活の場であると同時に、災害時には避難所として市民の命と生活を守る重要な施設である。危機管理課と教育委員会が連携して、エアコン設置計画を作成し、エアコンを設置する必要があると考えるが見解を伺う。

A 具体的なエアコン設置計画の前段として体育館の施設や設備の状況、他市の導入事例など情報を収集していく。設置については事業の優先順位なども考慮し、学校施設の安全性が確保できるよう適切に判断していく。（危機管理課・教育政策課）



日本共産党
瀬戸市議団
原田 学



新たな国保制度（県への広域化）で市民の健康は守れるのか

Q 国保保険料は同じ所得で比較すると協会けんぽの1.3倍、共済組合健保の1.8倍の高さです。それを緩和するため市は一般会計から繰入をしている。国はそれを、法定外の繰り入れとし、ペナルティまで課そうとしているが、それこそ自治権の侵害と考える。県に申し入れるべきではないか。

A 一般会計からの法定外繰入については国の通知に基づき策定した「赤字削減・解消計画」により削減している。国保保険料の算定については医療保険制度の安定化を目指し、国の定めるルールで適正に運用しており、県に申し入れる考えはない。（国保年金課）



公明党
瀬戸市議団
池田 信子



デジタル障害者手帳の導入について

Q デジタル化が進む中、障害者手帳の情報をアプリに取り込むことで、障害者手帳を提示するより精神的負担も軽減され、紛失防止効果も期待でき、さらに、従来の障害者手帳と同様の割引や優待が期待できる。割引時等の本人確認書類として、デジタル障害者手帳（ミライID）を導入してはどうか。見解を伺う。

A デジタル障害者手帳（ミライID）は、不特定多数の者に手帳を所持していることを知られる心配がなくなり、障害者にとって精神的な負担の軽減につながるものと捉えているので、導入を検討したいと考えている。（社会福祉課）



自民新政クラブ
柴田 利勝



ドローンの導入と有効活用について

Q 今日ドローンの活用は活発になっており、道路・橋梁・河川等の現状確認、災害発生時の迅速な現状確認等活用の可能性は広い。これらを利用して職員の仕事を有効に進めることで、市民サービスが向上すると考えるがいかがか。

A 自治体でのドローン活用事例は、実証実験等を含め増加傾向にあり、その活用分野は、消防や災害、橋梁点検など、各自治体が解決したい課題に応じて多様である。現状は活用事例等の情報を収集し、知識を高めることが重要である。事業化するには、関係法令等の認識を高めることと、財源及び人材の確保などが課題であると考えます。(政策推進課)



無会派
中川 昌也



インフレに対応した実収入増加のための施策実現について

Q 年金減額と、物価高騰の二重苦の中、困っている高齢者の方々に、瀬戸市独自の対策があっても良いと思う。例えば、年金減額相当分を緊急臨時対策として、地域振興券を発行し給付するなど、市独自の対策を行う必要性があると考えますが、見解を伺う。

A 長期化する感染症や原油価格・物価高騰は、市民生活に影響を及ぼしていると認識しており、現状としてそれらに対応する支援事業を実施している。今後も、現在国が検討している緊急対策を踏まえ、より効果的な施策・事業を検討し、実施していく。(政策推進課)



無会派
松原 大介



ハートフルパーキング制度(在宅医療・介護のための駐車場)の導入について

Q 本制度は、訪問診療・介護、ケアマネジャー等の医療・介護従事者が、駐車スペースのないお宅を訪問する際に、近隣の登録いただいた駐車スペースを一時的に借用することで、路上駐車などを防ぎ、円滑な在宅医療・介護を提供できる仕組みで、春日井市などが先行導入している。本市は、高齢化率も高く、道が狭いという特徴から、調査やヒアリング等を通じてニーズを把握すべきではないか。

A 介護事業者等から駐車場の確保ができないというお困りの声は、現在まで伺っていない。要望が多く寄せられた場合は、ヒアリング調査を行う予定である。(高齢者福祉課)



公明党
瀬戸市議団
長江 秀幸



本市の鳥獣の生息情報と対策について

Q イノシシの捕獲数の推移については、令和元年度を除くと、平成29年度から毎年300頭以上の捕獲数が報告されている。県の調査によると、市街地近くの平地まで分布が及んでおり、被害の拡大が懸念される状況にあるが、現状と今後の対策について伺う。

A 豚熱発生の令和元年度を除いた直近3か年の捕獲数は、ほぼ横ばいで推移しており、豚熱発生前までの生息数に戻っていると推測される。対策については、市街地近くでも目撃情報があり、地域の自治会等を中心に啓発用チラシを配布するとともに猟友会と連携をとり捕獲していく。(産業政策課)



無会派
馬嶋 みゆき



成年後見制度の利用増加による今後の方針について

Q 後見制度は認知症等で判断力が低下した方の財産管理や身上監護を裁判所から選任された後見人が行える仕組みである。本市の市長申立件数は令和3年度、20件で過去最多となった。今後も利用増加が予想されるが、制度利用時の費用負担が困難な方への申立費用や後見人等の報酬助成、また、調査等に関わる人員の確保について方針を伺う。

A 高齢者人口の増加に伴い、後見制度の利用も増えることで報酬助成や調査にかかる事務量も当然増加すると考える。その場合の人員確保については、状況や程度に応じて分析し適切に対応をしたい。
(高齢者福祉課)



自民新政クラブ
宮園 伸仁



公共のスポーツ施設の在り方について

Q スポーツ施設の充実や改修には大規模な予算が必要となる。市全体で検討し優先順位や効果の大小により予算配分が決まってくると思うが、野球場・陸上競技場のトラック等の充実は最重要課題と考える。市の見解を伺う。

A スポーツ施設の整備については、「瀬戸市公共施設等総合管理計画」との整合を図り、優先順位をつけながら計画を進めていく。なお、市民球場は昭和45年、陸上競技場は昭和48年竣工と全スポーツ施設の中でも古い施設であり、また、利用者のニーズも高いことから、優先的に進めていく必要があると認識している。
(スポーツ課)



自民新政クラブ
西本 潤



感染症に対する予防接種の推奨について

Q 子宮頸がんの予防には、対象年齢でのワクチン接種と、20歳になったら検診を受けるという一連の流れが重要であるが、接種後の検診の受診状況を伺う。また、带状疱疹のワクチン費用は高額であり、一部の自治体では接種者に対し助成を行っており、本市においても助成を行っていくべきであると考えているが、見解を伺う。

A 子宮頸がんの受診状況は把握していないが、20歳になったら受診していただくよう全対象者に受診券を個別に通知している。また、带状疱疹ワクチン接種費用の助成については、国等の動向を注視して判断していく。
(健康課)

委員会活動レポート

都市活力委員会では「魅力的な都市公園等の整備」について調査をすすめています

豊川市 インクルーシブパーク(誰もが遊べる広場づくり)について

豊川市では、市民意識調査において、「身近で親しみやすい公園」や「公園のバリアフリー化」を求める声が多かったことを踏まえ、年齢や身体能力に関係なく、誰でも一緒に遊べる「インクルーシブ」の理念に基づく遊具の設置が進められています。実際に遊具が設置された豊川公園を視察しましたが、遊具の価格も比較的安価なため事業化しやすく、真に効果のある障害者施策の観点からも非常に参考となる取り組みであると感じました。





議会だよりの表紙の絵を提供していただいた

瀬戸北総合高等学校を紹介します

平成21年度からこの地区初の総合学科の学校となり、平成23年度、校名を瀬戸北総合高等学校に変更し、令和3年度より新たにビジネス系列を設置しました。

人文探究、自然探究、福祉理解、生活科学、メディア芸術、健康科学、ビジネスの7系列があり、進路希望に応じて2年生から系列に分かれて勉強をしています。また、ボランティア活動やインターンシップなど校外での学びも大切にしています。



1年生

産業社会と人間 外部講師による
「適性検査の見方」進路ガイダンス



2年生

総合的な探究の時間 での
働く人座談会

広聴部会ニュース vol.10

「せとまちトーク」 ～市民と議会の意見交換会～を開催します!!

今回は、3つのテーマに分かれてグループディスカッションを行います。関心のあるテーマについて、みなさんが考える課題の原因とその解決策やアイデアなどをお聞かせください。多くの方のご参加をお待ちしております。



テーマ①

ごみの分別

ごみ減量に向けた
分かりやすい分別
方法を考える

テーマ②

元気に楽しく
暮らす

年齢を重ねても心身
の活力が低下しない
取り組みを考える

テーマ③

地域公共交通

市民の安心・安全な
移動手段を考える

日程 令和4年11月1日～11日
時間 午後7時～午後8時30分まで
場所 市内8会場

11/1 (火) 道泉地域交流センター
11/1 (火) 品野台地域交流センター
11/2 (水) 八幡公民館
11/2 (水) 西陵地域交流センター
11/4 (金) 陶原公民館
11/7 (月) 新郷地域交流センター
11/7 (月) 祖母懐公民館
11/11 (金) 效範公民館

※開催月である11月が「緊急事態措置」もしくは「まん延防止重点措置期間」と重なることが判明した場合は、中止とします。

※市内の感染状況次第では中止、もしくは入場制限をすることがあります。中止の場合は瀬戸市議会のホームページでお知らせします。

基本的な感染防止対策(3つの密の回避、人と人との距離の確保、マスク着用、換気など)を行なった上で実施します。



テレビ番組

グリーンシティケーブルテレビ

9月定例会の番組内容は
①予算決算準備会について
②9月定例会の報告
③行政視察について
お送りしました。



番組が
ご覧になれます。

「こんにちは!瀬戸市議会です。」
(地上デジタル121ch)

12月定例会放送予定
1月16日(月)から1月22日(日)まで

放送時間

(7:10～、9:10～、12:10～、
18:10～、20:10～、22:10～)

※放送時間が変更となる場合
があります。詳しくはグリーンシ
ティケーブルテレビから配布さ
れる番組表をご覧ください。



ラジオ番組

RADIO SANQ

「せとまちラジオ」(FM 84.5MHz)

12月定例会放送予定 11月22日(火) 12月27日(火)

放送時間 (9:20～、12:30～、18:00～)



放送の前半は定例会のお知らせ、後半では瀬戸市の未来像について議員が語るコーナーがあります。どんな思いが語られるのかどうぞお楽しみに。

ラジオサンキューホームページから過去の放送分もお聴きいただけます。



傍聴

傍聴をご希望の方は、
北庁舎5階の議会事務局
にお越しください。



インターネット中継

会議の様子をライブ配信
(生中継)・録画配信して
います。ホームページから
アクセスしてください。



12月定例会開催予定

- 11月30日(水) 本会議(開会・議案上程・説明)
- 12月 5日(月) 本会議(一般質問)
- 12月 6日(火) 本会議(一般質問)
- 12月 7日(水) 本会議(一般質問・議案質疑・委員会付託)
終了後 予算決算委員会
- 12月 9日(金) 総務生活委員会
終了後 予算決算委員会総務生活分科会

- 12月12日(月) 厚生文教委員会
終了後 予算決算委員会厚生文教分科会
- 12月13日(火) 都市活力委員会
終了後 予算決算委員会都市活力分科会
- 12月15日(木) 予算決算委員会
終了後 議会運営委員会
- 12月19日(月) 議会運営委員会
- 12月20日(火) 本会議(委員長報告・討論・議案採決・閉会)

※いずれも、午前10時からの開催予定ですが、日程が変更される場合がありますのでご確認ください。
※会議の様子は、瀬戸市議会のホームページからインターネット中継でご覧いただくことができます。
※請願・陳情の提出締切日は、11月16日(水)の午後5時です。



編集
後記

今号の編集にあたっては特集である「決算審査」をどのような形で皆様に報告するかということから編集作業がスタートしました。
決算審査では事業費の使い方、事業内容やその効果等について、各分科会で3回の決算準備会を経て慎重な審査が行われ、質疑の数も膨大です。

編集委員で話し合い、皆様により身近なものを中心に選び出し、また議会の視点も加えて、報告させていただきました。紙面ではすべての審査内容を報告できないのが残念ですが、動画配信もありますので、そちらもご覧いただけましたら幸いです。